

埼玉親善大使レポート

octubre de 2017

小林 幹

最近のメキシコは突然夕方に激しい雨が降ることも少なくなり、肌寒くなってきました。このぐらいの時期から雨季から乾季に変わるので季節の変化を感じています。

今回のレポートでは、メキシコシティーで感じた地震と授業で受講していたダンスのサルサについて紹介したいと思います。

メキシコシティーでの地震

9月7日木曜日にチアパス州の方でマグニチュード8.2の強い地震がありました。メキシコシティーでの体感はかなり遅い横揺れが長く続いたという感じでした。それから、12日後、9月19日火曜日の午後、プエブラを震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、震源がシティーに近かった

ために体感的にはかなり揺れ、さらに激しい縦揺れでした。私は UNAM の建物内にいたのですが、建物が崩れると思うほど強い縦揺れだったので走って外に出ました。この日は、1985 年に起きたメキシコ地震と同日だったのでお昼に避難訓練をした矢先のことでした。メキシコシティーはもともと湖で地盤が弱く、耐震もされていないため倒壊、損傷している建物も多く見受けられ、死者も 300 人を超えました。その影響で学校もしばらく休みになったほどでした。日墨生は全員無事でしたが、住んでる地区によってはしばらくの間、断水、WIFI がつながらない、電気がつかない等の被害がありました。



(地震の影響で崩れかかった建物)

サルサの授業

話は変わりますが、私は、スペイン語の語学の授業の他にサルサというダンスの授業を取っていました。毎週3日間2時間ずつという地味にハードな練習を約1ヶ月ちょっと続け、10月5日木曜日に学校内の講堂で発表会がありました。日本人にとって男女でペアになり、手を取り合い、ダン

スを踊るといのはとても恥ずかしく、初めは難しかったのですが慣れてくるととても楽しく、メキシコ人がいつも陽気で楽しそうにしているのが少しわかった気がしました。発表会は成功に終わり、とても楽しかったので、また違うダンスの授業も受講したいと思いました。



(サルサのグループ)



(発表会全体写真)